

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-2  
自然とのふれあいの推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 農産園芸課長 鳥屋尾健史 電話番号 0852-22-5123

事務事業の名称	花ふれあい公園事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	あらゆる世代が四季を通じて「島根の花」に親しみふれあえる暮らしを実現するため、花に興味をもつ機会を増やすとともに、花のPR及び花きの消費拡大を図る
事業概要	県民に対し、花きに親しむ機会の提供や普及PR・消費拡大の啓発等を行うため、花ふれあい公園「しまね花の郷」を管理運営する	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名 入園者数	目標値		65,000.0	60,000.0	60,000.0	60,000.0	人	
	取組目標値			65,000.0	65,000.0	65,000.0			
	実績値	63,421.0	60,285.0	65,771.0					
2	式・定義 年間入園者数	達成率	-	92.8	101.2			%	
		指標名	目標値						%
		取組目標値							
式・定義	実績値								
		達成率	-	-	-	-	-		

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	82,925	84,313
うち一般財源 (千円)	82,925	84,313

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・しまねの花振興品目を中心とした企画の充実、1年を通じて楽しめる植栽や展示、他の施設との連携等による集客を行った。
- ・4~6月は島根県オリジナルアジサイ「銀河」のPR効果とアジサイ人気の高まりで集客が伸び、年間の入園者数も目標以上となった。
- ・一方で、10~2月の入園者数は計画に達しなかった。
- ・公園内の植栽植物の地元調達率は99.3%となり、県内の花き産業育成にも貢献している。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

- ・入場者数は前年を上回る65,711人となり、目標の65,000人を達成した
- ・年間バスポート利用者が昨年に引き続き制度開始以来過去最高となり、長期運営に欠かせないファン獲得やリピート率向上に寄与した。
- ・島根の花情報発信(アジサイ「銀河」のフラワーオブザイヤー受賞)を含め、幅広い広報に努め、認知度の向上をはかった。
- ・「瑞風」運行のタイアップ企画で、JR出雲市駅構内に花展示を行うなど、他施設とのコラボ企画で集客向上を図った。
- ・しまね家庭の日にあわせた花の摘み取り体験など、幅広い世代を対象とした「花育活動」により、県民が花にふれあえる機会を創出した。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

- ・施設の経年劣化による修繕必要箇所が増加している。
- ・月により入園者数の変動がある。
- ・年間バスポート利用者が増加している反面、出雲地域以外からの来場者が少ない。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・修繕は長期保全計画により実施されるが、修繕箇所は増える傾向にあり、予算が追いついていない状況。
- ・天候による入園者数の変動が大きい
- ・集客数の増加に向けては、新企画やより効果的な広報を行い、認知度を向上させることが必要。

### ③原因を解消するための「課題」

- ・予算確保による修繕の早期実施。
- ・花き文化振興拠点として、より多くの来場者に花の魅力を感じてもらえる企画の立案と実施。
- ・広報活動強化による県内広範なエリアへの情報提供。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・破損および要修理箇所のこまめな情報提供による修繕の必要性共有と早期実施。
- ・県内観光施設や花き展示施設と連携したイベント開催やSNS等様々な手法を用いた広報活動の実施。
- ・出雲市朱鷺センターの一般公開(12月)に向け、必要な園内整備、出雲市との連携による集客向上対策を行う。